

ふるさと発見！（小・中学生向け）

こうようがくふ 向陽学府



向陽学府小中一体校の校章

〈児童・生徒数〉 令和7年5月1日現在

おおふじ 大藤小学校	279人
むかさ 向笠小学校	156人
いわた 岩田小学校	92人
こうよう 向陽中学校	237人

2026（令和8）年4月に、大藤小学校、向笠小学校、岩田小学校の3つの小学校が統合して「向陽小学校」となり、向陽中学校とひとつになった向陽学府小中一体校が開校しました。

1948（昭和23）年、静岡県磐田郡向笠村外二ヶ村組合立向陽中学校が開校しました。開校当時、地域の人たちから中学校の名前を募集し、「向陽」が選ばれました。学府の名称は、向陽中学校から付けられました。

磐田原台地を中心とした自然あふれる地域

向陽学府は、広大な磐田原台地を中心に、台地の東に流れる太田川と西に流れる天竜川によって築かれた平野が広がっている地域です。平野は豊かな米作地帯として繁栄してきました。台地は茶の栽培をはじめとした畑が広がり、畑作中心の生活が営まれてきました。近年は、ほしいも作りや、イチゴ・スイカなどの栽培を行う農家も増えています。磐田原台地には、総合病院やスポーツ施設のほか、大型商業施設などもあり、発展をつづけている地域です。

トンボの楽園「桶ヶ谷沼」

岩井には、日本有数のトンボの生息地「桶ヶ谷沼」があります。絶滅危惧種のベッコウトンボをはじめ72種類（国内生息種の約3分の1）ものトンボが生息しています。ベッコウトンボは市の昆虫に指定されています。また、野鳥も多くみられ、冬になると「桶ヶ谷沼」と近くにある「鶴ヶ池」には、カモやハクチョウなどの渡り鳥が多く飛んできます。静岡県自然環境保全地域に指定されており、自治体やボランティアによる除草作業や生態調査など環境保全活動もさかんです。自然環境を利用した体験学習もおこなわれ、希少な動植物を観察することができます。



向陽地区の地図

2 おおふじ「大藤」という地区名のふしぎ

どこから「大藤」という地名が生まれたのでしょうか。1889（明治22）年に「大久保村」と「藤上原村」の頭文字をとって「大藤村」となったのです。しかし、今現在「大藤地区」には、住所に「大藤〇〇番地」という住所はありません。大藤1区から13区までと大藤団地の14区で合わせた地域が「大藤地区」です。

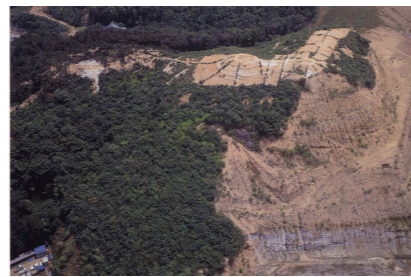
3

しせき ほうこ
史跡の宝庫

台地の縁には、大小の古墳が数多く造られました。
 岩田地区の「銚子塚古墳 附 小銚子塚古墳」は、古墳時代に造られたと考えられており、小形の三角縁神獣鏡（東京国立博物館に収蔵）も出土しています。
 また、向笠地区にある「新豊院山古墳群」は、弥生時代から古墳時代の墳墓群です。ひとつの尾根上にいろいろな形式の墳墓があり、お墓の移り変わりを知ることができる貴重な史跡です。
 今は残っていませんが、新豊院という寺の裏山付近には「向笠城」がありました。今から500年以上前には建てられていたと言われ、戦国時代、武田と徳川の合戦に深くかかわりをもちました。この城主の向笠伯耆守が新豊院を開き、裏手にある五輪塔は、向笠伯耆守の墓であると伝えられています。



銚子塚古墳附小銚子塚古墳（国指定）



新豊院山古墳群（昭和57年撮影）（国指定）

『磐田の文化財』
磐田市文化財課より

4

かいほつ かいこん
開発・開墾の地

向笠西にある法雲寺には、高塚太郎平（1845-1898）の記念碑が建てられています。資産家の太郎平は、地域の発展のために自分の財産を投じて磐田原を横断する道を作り、1887（明治20）年4月に可睡斎で開通式が行われました。この道は現在の袋井市国本から磐田市勾坂西へ通じており、「高塚新道」または「太郎平新道」と呼ばれています。
 磐田原台地は、ほとんどが山林で水の確保が難しい土地でしたが、士族らによって明治初期から開墾（山野を耕して田畑を開くこと）され、茶や野菜などが栽培されるようになりました。

5

てらだにようすい
農業と寺谷用水

1588（天正16）年、徳川の家臣であった平野三郎右衛門重定（生年不詳-1624）により、天竜川を水源とした寺谷用水の開発がおこなわれました。岩田地区の寺谷に水を取り入れる場所を作り、10年以上かけて寺谷から浜部村にわたり12キロの用水路がつけられました。これによって73の村に水が引かれ、水不足で米作りに苦労していた村々の田が潤されました。

6

でんとうぎようじ
地域の珍しい伝統行事

岩井には「たたきごぼう」という珍しい行事があります。鹿島神社例祭の神事の供え物として作られ、料理するときはまったく刃物を使わず、ごぼうを手で裂いて碎きます。また、向笠竹之内には、足腰の病気を治すといわれている「柿の木さま」が祀られています。病気が治った人がお礼に履物を奉納し、それを下げて履くと足腰が丈夫になるとも伝えられています。
 ほかに向陽学府には、伝説、昔話、言い伝えや風習が数多く残っています。

くわしく調べるには

■農業や暮らしについて

- ・『磐田ものがたり』・『磐田ことはじめ 第3編』
- ・「いわたふるさと散歩 磐田文化財マップ（北部編）」★
- ・『ふる里向笠』・『トンボの里のふるさと向笠 第二集』
- ・「磐田を知りたい！調べたい！（小・中学生向け）磐田の特産物（農林水産業）」◆

■歴史について

- ・『図説 磐田市史』・『磐田の文化財』・『大藤歴史探訪』
- ・『わたしたちの磐田』・『磐南の寺院』・『向笠史跡のしおり』

■自然について

- ・『磐田の自然 磐田市誌シリーズ 第5冊』・『てくてく太田川』
- ・『桶ヶ谷沼ビジターセンターだより』

■開拓の歴史や発展につくした人物について

- ・『高塚新道』・『まんがでわかる 寺谷用水』
- ・「磐田の著名人一覧」◆ ・『磐田市史 通史編下巻』

■向陽学府に伝わる風習や伝統について

- ・『磐田の民俗』・『磐田昔がたり』
- ・『磐田市岩田地区の伝説・昔話』

■地名について

- ・『角川日本地名大辞典 22 静岡県』・『磐田の地名 1』

※◆印は図書館ホームページの「発見！いわた」コーナー、
 ★印は電子図書館から見ることができます。



桶ヶ谷沼ビジターセンターだより



図書館ホームページ